2.1 組織

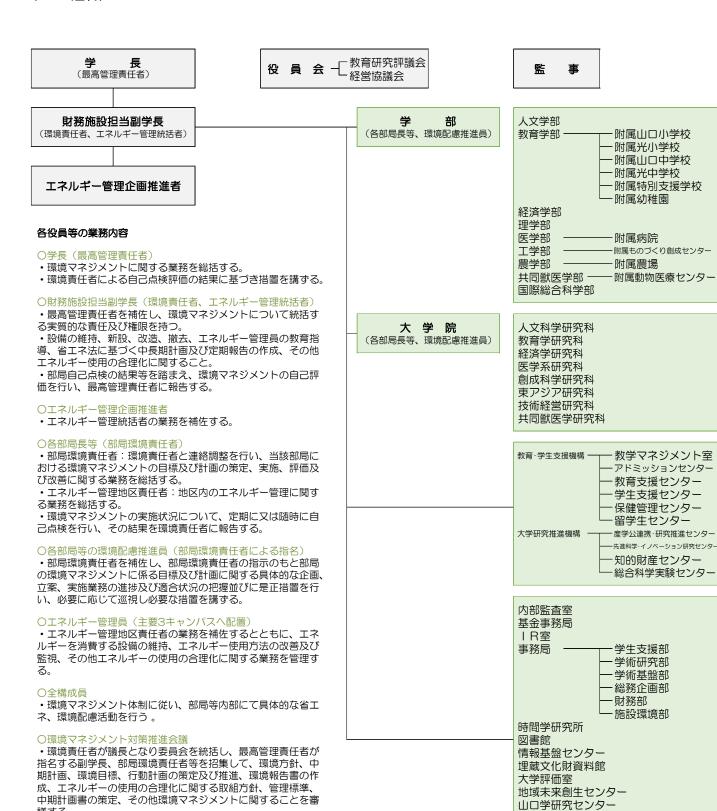


図2-1 山口大学組織図 (2023年度体制)

ダイバーシティ推進室 情報・データ科学教育センター

リサーチファシリティマネジメントセンター

教職センタ

総合技術部

- ○環境マネジメント対策部会 • 上記会議で特定の事項を検討するため、この部会を置く。
- ・環境目標、行動計画の企画立案、環境報告書の情報収集、編 集等作成、エネルギー管理方針、管理標準、中期計画の策定、 その他環境マネジメントに関することを審議する。
- · 2023.7.14、11.10、2024.2.9開催。

• 2023.7.18、9.21、2024.3.1開催。

山口大学URL

議する。

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/index.html#anker-4

3

2.2 環境リスクマネジメント

大学における環境リスクマネジメントでは、教育・研究に欠かせない<u>化学物質の安全管理と自然災</u> 害・事故等に関連する影響を最大のリスクと判断し、次のとおり対応しています。

(1) 化学物質の安全管理に対する体制

本学では、「国立大学法人山口大学化学物質安全管理規則」 (2013年5月14日制定)及び関係法令に基づく、学内体制の整備、 環境保全及び安全教育、薬品管理、化学物質リスクアセスメント 評価などを推進し、リスク管理を徹底しています(図2-2)。

〇 労働安全に関する職場巡視活動

「国立大学法人山口大学職員労働安全衛生管理規則」(2004年 4月1日制定)を定め、職場の労働安全衛生環境を確保することで、 労働災害防止、自然災害の被害拡大防止、化学物質等による二次 災害防止に努めています。

職場巡視では、専門の管理者等が直接現場に足を運び、教職員及び学生が<u>安全かつ快適な環境</u>で教育研究活動に従事できているかどうか、どのような<u>潜在的リスク</u>があるのかを第三者の視点で確認しています(図2-3)。

(2) 自然災害・事故等に対する体制

「国立大学法人山口大学防火規則」(1993年11月22日制定)等の定めにより、各団地毎に<u>消防団・自衛消防組織等を編成</u>し、緊急時の迅速・安全・的確な対応ができる体制を整えています(図2-4)。

さらに、医学部附属病院では、<u>災害拠点病院</u>(2021.4.30)の 指定を受けるとともに、救急救命センターや山口県DMAT(災害 派遣医療チーム)指定病院として、患者及び職員の安全、医療施 設の機能確保、医療行為の適切な遂行を図ることを目的として、 「山口大学医学部附属病院災害対策マニュアル」を整えています。

○ 災害時の事業機能の確保

吉田キャンパスでは、地域の避難所開設(1842人収容)のため、 防災用トイレ・井戸・かまどの避難所の機能を備えています。

小串キャンパスでは、災害時に病院機能を確保するため、<u>施設</u>の免振構造、発電機設備の設置、浸水対策のための止水板の設置 (図2-5)、防災用トイレとして地下汚水槽を整備しています。

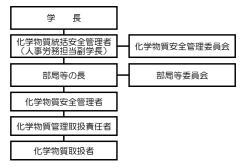


図2-2 化学物質安全管理体制 (2023.8.10、2024.3.19開催)



図2-3 外部コンサルの職場巡視 (外部コンサル2023.12.20実施)



図2-4 避難訓練(情報収集) (吉田·常盤:2023.11.2実施) (小串:2023.12.1実施)



図2-5 外来入口の止水板の起動確認 (2023.7.1実施)